

令和7年度丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金活動報告書

実施団体名	丹波ダーツ協会				
事業名称	丹波ダーツフェス				
事業費	274,724円	補助金確定額	183,000円	実施場所	市内数力所
事業目的	<p>人口減少や高齢化によって、自治会の衰退や地域イベントの減少が進んでいる。そのため、地域市民が交流し、地域コミュニティを形成する場所や機会が失われつつある。地域コミュニティの喪失は、地域住民の生活の質の低下や、地域課題を話し合う場の減少、また犯罪の増加などにも繋がる可能性がある。これらの課題を解決するために、当事業ではダーツを通して、新しいコミュニティの形成を目指す。ダーツという老若男女が楽しむことができるゲームを通して、地域住民が集まれる場所、機会を創出することが目的である。また、「ダーツの街」というブランディングのもと、観光資源としての確立を目指す。</p>				
事業内容	<p>本事業は、2025年4月より準備を開始し、まず「丹波ダーツフェス2025」の宣伝用メインビジュアルを制作した。その後、順次チラシ、ウェブサイト、SNS用デザインを作成し、5月から本格的に広報活動を開始した。これにより、練習会および大会の集客を図った。実施したイベントは以下の通りである。</p> <p>【練習会①】6月18日(水) 19:00-22:00 @森のおこぼれ</p> <p>【練習会②】7月19日(土) 13:00-16:00 @mamimumemo BOOK BOOK</p> <p>【大会】8月30日(土) 10:00-18:00 @mamimumemo BOOK BOOK</p> <p>練習会については、参加者がダーツを通して交流を深める場として設計し、地域や職業といった垣根を越えて多様な人々が集まり、コミュニティの形成につながった。また、大会ではMASTERS18名、LADIES4名の出場枠を設けて試合を行った。加えて、地域の食を楽しめるミニマルシェを同時開催することで、出場者だけでなく来場者にも丹波の魅力を体感してもらえる仕組みとした。これにより、ダーツに興味がない方でも気軽に参加できるイベントとなり、幅広い層へのアプローチを可能とした。計画していた実施内容と比較して大きな変更はなく、当初の計画通り練習会と大会を実施することができた。</p>				
	<p>本事業においては、広報活動を計画的かつ継続的に展開した結果、ダーツ大会の参加枠は早期に定員に達し、事前の参加希望者確保という点で大きな成果を収めた。一方で、当日の現地参加者数は当初の想定を下回った。これは、丹波市内で自宅に練習環境を整える住民が増えたことによる練習会参加者数の減少や、併設マルシェ来場者数の低調が要因と考えられる。</p> <p>しかしながら、大会の様子をオンライン配信したところ、のべ約3万人が視聴しており、現地</p>				

事業の成果 感想等	<p>参加の不足を補いながら広く大会の雰囲気をお届けすることに成功した。オンラインとオフラインを組み合わせることで、地域イベントとしての波及効果を全国へと拡大する成果を上げることができた。</p> <p>また、地域のカフェなど身近な場所を会場として活用し、参加のハードルを下げたことにより、新たなコミュニティ参加者を獲得した。さらに、地元飲食店の出店を組み合わせ、競技者のみならず家族連れや幅広い世代が楽しめる空間を提供できた点も評価できる。結果として、地域に新たな娯楽文化を創出し、コミュニティ形成の促進に寄与したと考える。</p> <p>SNSやYouTubeによる積極的な情報発信により、地元外にも活動を広く周知でき、数万人規模のオンライン視聴を獲得するなど、地域の魅力を発信する有効な手段であることを確認した。今後もオンライン発信を取り入れつつ、オフライン参加者数の安定的な確保に向けて取り組んでいきたい。</p>					
参加人数	大人 中学生	人 人	高校生 小学生以下 入場者	人 人 人	合計	現地 150人 Online 3万人
事業写真						